

しぶたに 洋子



寒い冬も終わりを告げ、ようやく春の陽気が感じられる季節となりました。
 日頃より、地域の皆様には、ご支援、ご協力いただいておりますことに心より感謝申し上げます。
 さて、3月に行われました、令和4年第1回定例会一般質問及び、予算委員会の内容を皆様にご報告させていただきたく、第006号のお便りを作成致しました。
 令和4年度も皆様のご期待に応えることができますよう、決意を新たに尽力して参ります。

オフィシャルサイトでプロフィールやブログなどを配信しております [しぶたに洋子](#)

令和4年度 青森市の主な取り組みの中で、コロナ禍において打撃を受けている市内事業者の方々を幅広く支援するための支援策について

青森市新事業チャレンジ支援補助金事業について、どのような業種の事業者が補助対象となるのかお示しください。

【青森市新事業チャレンジ支援補助金事業の概要】

新型コロナウイルス感染症による社会経済の変化を踏まえた新しいビジネスの展開を後押しするため、テイクアウト・デリバリー等の新たな需要に対応する飲食店などのビジネスモデルの転換や新規創業など、意欲的にチャレンジする事業者を支援します。予算額については、他都市の事例を参考に175事業者からの申請を見込み、1億7,510万8千円を計上しています。

【補助率について】

新たな事業を実施するための経費の3分の2(上限100万円)

【補助対象者及び対象業種について】

市内に本店又は主たる事業所を置く個人事業主、中小企業者等及び新たに創業する方を対象としています。対象業種について

は、「事業継続支援緊急対策事業」の対象としている接客やサービスを伴う小売業・飲食サービス業等19業種に加え、中小企業基本法第2条に規定する製造業、建設業、運輸業その他の業種、卸売業、サービス業、小売業全ての業種とし、幅広い業種を支援します。

事業継続支援緊急対策事業について

【事業の概要】

小売業・飲食サービス業等全19業種の市内事業者に対して、事業継続に必要な経費について支援します。

【助成内容】

1事業者当たり上限90万円(家賃・自己所有物件固定資産税の8割相当額を3か月分、3事業所・店舗まで)

【受付期間】

令和4年4月中旬～6月(予定)

美術作品の活用状況について

教育委員会が所管する美術作品について、市民にどのような鑑賞機会を提供しているのかお示しください。

現在、教育委員会所管の美術作品は、学校にあるものを除き、絵画、版画、書や写真など計2,880点となっています。

□リンクモア平安閣市民ホール

平成17年から、一般財団法人青森市文化観光振興財団との共催による「あおもり文化とアート展」を年3回開催

□古川市民センター常設展示室

平成21年から、春夏秋冬に合わせた関野準一郎氏、棟方末華氏などの作品の展示

□市民ホール・中世の館のロビー

通年での作品の展示

□市ホームページ

美術作品を紹介するギャラリーの開設

令和3年度「あおもり文化とアート展」の開催内容

- 第1回目(令和3年6月) 「たたかう身体を彫る！」
 ○関野準一郎氏 14点 ○山口晴温氏 21点…………… 計35作品を展示
- 第2回目(令和3年12月) 「日本のロマンティックGirl展」
 ○根市良三氏 5点 ○関野準一郎氏 17点
 ○棟方末華氏 5点 ○山内ゆり子氏 10点…………… 計37作品を展示
- 第3回目(令和4年3月) 「昭和の子どもたちのフォークロア展」
 ○佐藤米次郎氏 32点 ○山口晴温氏 6点…………… 計38作品を展示

タッケン市民美術展示館とリンクモア平安閣市民ホールを連携させることによって、まちのにぎわいを創出していくことが必要と思うがどうですか？

令和6年度に予定している青森駅新駅ビルへの市民美術展示館の移設を見据え、教育委員会では、市民ホール1階ギャラリーの一般利用を拡大し、市民美術展示館のサテライトとして活用することで、市民ホールと市民美術展示館を文化芸術でつなぎ、青森駅前地区の回遊性向上を図りたいと考えています。このため、来年度から、試験的にギャラリーの一般開放を行い、運用面での課題等を調査したいと考えています。



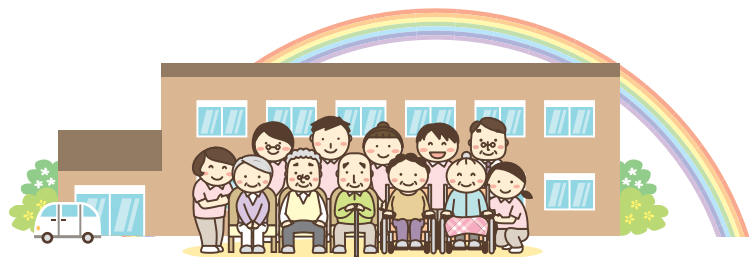
高齢者福祉について (令和3年11月1日時点)

【第8期計画における施設整備の考え方】

地域包括ケアを推進し、高齢者の住み慣れた地域での生活を支えるため、地域密着型サービスの整備を進めることとし、特別養護老人ホームについては、入所定員29人以下の地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護を整備することとしました。その整備数については、在宅の入所待機者数の状況、介護保険料への影響及び事業者の施設整備の意向を考慮し、また、国から示された基本指針に基づき、住宅型有料老人ホーム等の設置状況も勘案し、決定しました。

第一号被保険者の要介護1から要介護5のそれぞれの認定者数をお示しください。

要介護1 3,634人	立ち上がりや歩行が不安定で、日常生活において部分的に介護が必要な状態。
要介護2 3,252人	立ち上がりや歩行が自分でできないことが多く、日常生活全般に部分的な介助が必要な状態。
要介護3 2,303人	立ち上がりや歩行が自分では困難で、日常生活全般に全介助が必要な状態。また認知症の症状があり、日常生活に影響がある。
要介護4 2,237人	立ち上がりや歩行が自力ではほとんどできない。食事などの日常生活が、介護がないと行えない状態。コミュニケーションの部分でも、理解力の低下があり、意思疎通がやや難しい。
要介護5 1,855人	寝たきりの状態で、日常生活全般ですべて介助が必要な状態で、理解力低下が進み、意思疎通が困難。



特別養護老人ホームの施設数と第8期計画における計画数をお示しください。

現在設置されている特別養護老人ホームの施設数

入所定員30人以上の広域型の特別養護老人ホーム	13施設	計19施設
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	6施設	

第8期計画における地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護の計画数は	4施設
------------------------------------	-----

特別養護老人ホームに入所を申し込んでいる在宅の待機者数をお示しください。

令和3年11月1日現在 在宅の待機者数 **194人**

なぜ、5圏域と6圏域の二つの圏域を公募圏域から除いたのか。全ての圏域を対象とすべきではないか。

地域包括ケアを推進し、高齢者の住み慣れた地域での生活を支えるため、地域密着型サービスの整備を進めるとの考えを踏まえ、地域間の施設の定員数に配慮し、既存の定員数が少数の地域を対象としたため。市内の特別養護老人ホーム19施設、定員1,003人の内、5圏域では4施設、定員260人6圏域では5施設、定員299人。これらを除く圏域では1施設、定員100人以下と少ない状況のため、5圏域、6圏域を除いた圏域を公募対象としました。

5圏域

大矢沢、卸町、合子沢、幸畑、桜川2～9丁目、新町野、田茂、木野、筒井、問屋町、野尻、妙見、雲谷、横内、四ツ石

6圏域

赤坂、浅虫、泉野、後落、久栗坂、桑原、駒込、沢山、三本木、諏訪沢、平新田、滝沢、田屋敷、築木館、月見野、戸崎、戸山、野内、浜館、原別、蛭沢、馬屋尻、宮田、本泉、矢作、矢田、矢田前、八幡林

ふるさと納税について

ふるさと納税の返礼品について、令和2年度及び令和3年度の直近の本市への寄附実績をお示しください。

令和2年度及び令和3年度の寄附件数及び寄附金額

年度	件数	寄附総額
令和2年度	40,317件	5億 496万2,401円
令和3年度	46,223件	5億8,304万1,644円

青森市ではどのようなふるさと納税返礼品を取り扱い、どのようにPRしていますか？

- ・青森市ホームページに返礼品のカタログを掲載
- ・ふるさと納税ポータルサイトへの掲載
- ・リーフレットや返礼品のカタログを、東京、名古屋、大阪などにある全国の青森県人会や、アンテナショップに配布
- ・本市が参加する首都圏のイベント等で配布

ふるさと納税
進呈品カタログ
青森市ホームページ



さとふる
青森市



令和3年度ふるさと納税進呈品導入支援事業の概要と実績をお示しください。

ふるさと納税進呈品導入支援事業は、ふるさと納税進呈品を開発する生産者や中小企業者等を対象に支援するものであり、市産農水産品の高付加価値化、事業者の所得向上を図り、地域の活性化や農水産業の振興に資することを目的とするものです。令和3年度は、3者に対し、総額107万3千円の補助金を交付決定し、3商品が開発され、12月からふるさと納税進呈品に登録されています。

令和3年度実績

【青森縄文和栗の焼きモンブラン】

青森市産の和栗を活用した焼き菓子



【津軽の恵み】

青森市浪岡産のりんごを活用した和菓子



【あおもりカシスエール】

青森市産のカシスを活用したクラフトビール



今後とも、特産品の新規掘り起こしを進め、人気商品の安定供給や商品のラインナップを増やし、本市の魅力ある返礼品の充実に努め、市産農水産品の高付加価値化、農水産業者等の所得向上と農水産業の振興を図って行きます。